



CONTENTS

- 03 役員メッセージ
- 04 **特集** 2024年度業務実績評価について
6年連続 A評価
- 08 **特集** 病院・施設紹介
イベント：埼玉メディカルセンター
イベント：横浜中央病院
医療設備：北海道病院
医療設備：徳山中央病院
研究事業：東京山手メディカルセンター
施設紹介：うつのみや病院
- 14 病院機能評価
JCHO PHARMACIST（薬剤師）
- 15 ONE JCHO（理事長訪問）

東京山手メディカルセンター
東京消防庁新宿消防署より感謝状を授与



東京消防庁新宿消防署より「指定二次救急医療機関として傷病者の受け入れ態勢を確立し、救急業務の充実・発展に多大な貢献をした」との評価を受け、9月9日（救急の日）に感謝状を授与されました。

今後も地域の皆さまの生命と健康を守るため、救急医療体制の一層の充実と質の向上に努めてまいります。



役員メッセージ

社会保障・経済政策担当理事

伊藤 由希子

（慶應義塾大学大学院商学研究科教授）



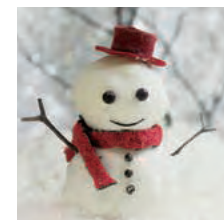
「ぜひ地域医療の再編の流れにさおさす存在になりたいと思います。」ある市の医療関係者を前にこう挨拶した途端、場が一瞬凍り付いた数年前の出来事を今でも思い出します。「さお（掉）さす」の古くからの意味は「助ける」という意味ですが、文化庁の2012年の調査は、約6割が「邪魔する」という意味で捉えていると報告しています。

この度、医療経済担当理事という耳慣れない役職を拝命しておりますが、私の本職は医療経済の研究者です。

最初に地域病院の再編に関わる研究者兼実務部員という役割に就いて以来かれこれ15年になります。地域医療の再編に必要なものとはともかくも「地の利・人の和」につきますがその根底には大きな邪魔とそれゆえの危機感があることが少なくありません。

つまり、両方の意味で「さおさす」存在がないと、低位安定、護送船団に慣れた地域医療のしがらみは、なかなか変わらないかもしれません。

その意味で、私は「助ける」ために「邪魔する」存在でもありたい、と思っています。次に皆さんの病院でお目にかかる時は、「流れにさおさす存在に」とあえて思い切って挨拶してみようと思っています。



6年連続 **A** 評価

2024年度 業務実績評価（独立行政法人評価）

厚生労働大臣から A 評価を受けました

独立行政法人評価って何ですか？

JCHOは独立行政法人なので、達成すべき目標（中期目標＝5年間の目標）を厚生労働大臣から定められています。

その目標を達成するために、中期計画（5年間の計画）と年度計画（1年間の計画）を策定していて、年度が終わるごとに業務実績について厚生労働大臣から評価を受けるのです！

へー、知らなかった！それで昨年度の業務実績についてはA評価を受けたんですね。A評価ってすごいんですか？

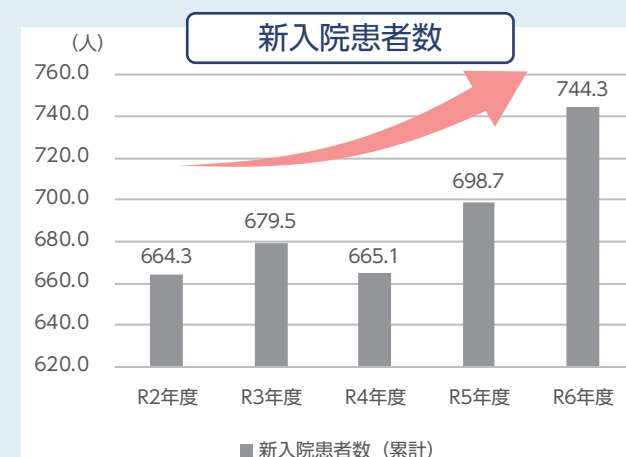
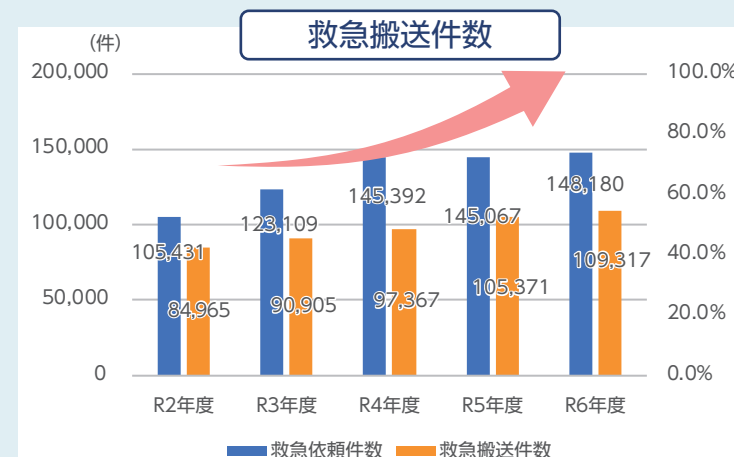
「中期計画における所期の目標を上回る成果が得られている」という評価です。職員の皆さんの日々の活動があったからこそ得られたA評価ですよ！



どんな目標があったんですか？

例えば、病院機能評価の認定病院数や、逆紹介率、救急搬送件数の目標があります。JCHOが地域から信頼され、必要とされ続けるために、医療の質の向上や地域の他の医療機関等との連携が求められているのです。

2024年度末時点で病院機能評価は57病院中22病院が認定済み、救急搬送件数は10万件以上で、目標達成となっています！



ほかには？

地域住民への教育・研修（公開講座など）や、地域の医療・介護従事者への教育・研修の実施回数の目標もあります。

地域全体の健康づくりや、地域の医療・介護の質の向上に貢献することが求められているのです。こちらも目標を達成し、厚生労働大臣からも高く評価されています！



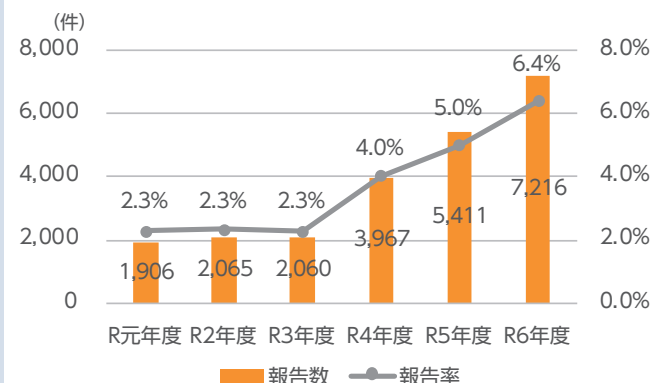
他には、インシデント・アクシデント報告の総数や、医師からの報告件数の割合を「各病院で前年度より1%増やす」という目標もありますよ。

なかなかハードルの高い目標ですね。達成できたのでしょうか？

医師からの報告件数の目標については、残念ながら達成には至りませんでした。医師の報告を増やすのは簡単ではありませんが、JCHO全体ではこの5年間で報告件数が3倍以上に増えていますよ！医療の質を高めるためには医療安全対策への医師の積極的な関与が欠かせません。そのため、この目標が設定されているのです。

例えば、24時間以内の再手術症例や手術時間の超過事例等は医師からの報告を促したり、報告書の入力項目を最小限にして負担を軽減したりと、工夫をしている病院もあるようです

医師からの報告件数及び報告率



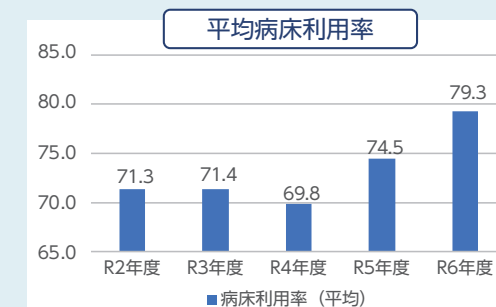
介護事業関係では、訪問看護ステーションの特別管理加算の算定件数が目標になっています。老健施設や訪問看護ステーションで医療ニーズが高い方を積極的に受け入れたことも高く評価されました。



経営面はどんな評価を受けたんですか？

経営面では、物価上昇等で費用が増加する状況下で、救急患者の受入強化等の増収の取組や、共同調達の実施等の費用抑制の取組の実施により、医業収支が増加しており、全体として健全な組織運営の努力が行われている、と評価されました。

平均在院日数が短縮し、病床利用率が上がっていることにも経営改善の努力が現れていますね！



山本理事長からのメッセージ

今回の結果は、全国57病院、約27,000人の職員全員の熱意と努力の賜物だと考えております。

有識者からは「大変厳しい中、各現場が努力していることがよくわかった。今後も推進してもらい、地域住民が安心できる地域医療を行っていただきたい。」との期待が寄せられました。

経営努力は認められましたが、経常収支は赤字が続いています。

自律的な運営のためには黒字を目指すことが不可欠です。

このような評価をいただいたことに自信を持って、さらなる経営改善を実現すべく頑張りましょう。

今後も職員一丸となって、さらに地域の皆様に信頼されるJCHOを目指していきましょう！

地域貢献
イベント

埼玉メディカルセンター

災害対策訓練を通じた地域医療貢献を目指して

防火防災対策委員会 広報委員会

救急科診療部長 和田 浩 薬剤部 浦田 晃子

C S C A T T T
C: Command & Control 指揮と連携
S: Safety 安全
C: Communication 情報伝達
A: Assessment 評価

※ CSCAの確立なくしてTTTなし

T: Triage トリアージ
T: Treatment 治療
T: Transport 搬送

地域貢献
イベント

横浜中央病院

ハローよこはま 2025 ! 地域イベントで健康を増進
血管年齢測定

副院長 大岩 功治



第1回さいたま市浦和区災害対策合同訓練 (2025.11.15)

トリアージの訓練

停電時に電源として使えるEV車

埼玉メディカルセンターの取組として防火防災訓練を発展昇華させ、埼玉MC・（一社）浦和医師会・さいたま市薬剤師会・埼玉トヨタ自動車（株）・さいたま市浦和区役所の地域5団体が一体となり、2025年度より合同訓練を開催しました。当日は大勢の参加者が組織を超えて連携し、地域のきずなを深めました。

訓練では、埼玉MC駐車場を利用し、さいたま市医療救護所の設置、電気自動車(EV)の設置、投光器・送風機の設置、トリアージポストの拡充(CSCA-TTT)を行い、模擬患者とトリアージタグを用いた本番さながらの訓練を通じて、地域住民のみなさまに病院の存在をより身近に感じてもらうと同時に、災害時に行政・企業・地域開発団体とも連動した行動がとれるように訓練をアップデートしていきます。



血管年齢

無料健康相談

横浜中央病院は、2025年11月9日に横浜市中区民祭り「ハローよこはま」に参加しました。1976年から続く伝統のあるお祭りで、毎年地元医師会とともに健康相談のお手伝いをしております。

横浜赤レンガ倉庫や大さん橋とも隣接した「象の鼻パーク」会場にて、多くの来場者に「血管年齢測定」を行いました。測定結果から生活習慣の問題点に気づき、食生活や運動習慣の改善を促すことで健康維持や病気の予防を促すことが出来ました。

当日は朝から小雨交じりのスタートでしたが、会場ブースには行列も出来るほど来場者の関心も高く、横浜市長の表敬訪問も受けました。ご厚情に深く感謝申し上げます。

北海道病院

産後ケア 始めました！

4 階病棟 副看護師長 天野 舞子



2025年12月、個室リニューアル！

北海道病院では、2025年4月から産後ケアを開始しました。産後ケアは、「赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムがわからない」など、出産後、育児等の支援が必要な方を対象に、助産師等が産後の体調管理や育児相談等の援助を行うものです。育児で疲労がたまっている方が多く、リラックスしてお過ごしいただき、「ゆっくりできました」などの感想をいただいています。

今後は、「宿泊型」についても検討しており、地域みなさんにお気軽に活用していける場を提供できるよう努めます。



徳山中央病院

救急車医師同乗システムに関する協定

救急科医師 清水 弘毅



左から、山本亜希広消防長、藤井律子市長、沼文隆病院長、清水弘毅救急科医師

2025年9月12日、周南市と徳山中央病院は「救急車医師同乗システム（ドクターカー）」に関する協定を締結しました。医師・看護師・救急隊員が一体となり、緊急度・重症度の高い現場へ迅速に駆けつけることで、救命率の向上や後遺症の軽減を期待しています。

市民の皆さまが安心して暮らせる地域づくりに少しでも貢献できるよう、これからも地域医療の充実に努めてまいります。

10月1日から試行運用、2026年4月から本格運用予定です。



東京山手メディカルセンター



Excellence in Nursing

—AIで記録を変える、看護が変わる—

ICU・看護師長 新井 真理子



東京山手メディカルセンターでは、看護の質向上と働き方改革を両立するため、AIを活用した看護記録支援システムを導入しました。音声入力や自動記録補助機能により、看護師の記録時間を大幅に短縮し、患者さんと向き合う時間を確保！AIは看護師の代わりではなく、“寄り添う力”を支える存在です。人の温かさとテクノロジーの力が調和することで、より質の高い看護が実現します。

「Excellence in Nursing」—この言葉には、日々の看護実践を磨き続け、より良い医療を患者さんに届けたいという私たちの願いが込められています。これからも、現場から未来へ、看護の新しい価値を創造していきたいと思ひます。

うつのみや病院



地域とともに歩むJCHOオレンジサロン

うつのみや病院附属介護老人保健施設

介護支援専門員 稲葉 陵一



認知症のシンボルカラーが
「オレンジ」なのは、
江戸時代の「柿右衛門」
の「柿色」に由来

うつのみや病院では、2024年に宇都宮市から認知症の地域活動拠点として認知症サロン（認知症カフェ）の運営委託を受託し活動をしています。認知症の講話から加齢などにより心身の活力が低下する状況（フレイル）に関してのお話をしています。

参加される方は、かかりつけの患者さんや近隣の住民の方が来てくれており、毎回20名程度の参加をいただいています。サロンの参加者様より、講話がとても参考になるなどのご意見をいただいています。

これからも気軽に相談できる場として、地域に密着した活動として続けていきます。

ONE JCHOで全病院の認定を!

病院機能評価



JCHOでは、安全で安心な医療の提供のため、2028年度末までに全57病院における病院機能評価等の認定を目標としています。2023年度末には21病院が認定されていましたが、2025年9月末には27病院が認定となりました。2025年度中にさらに17病院が受審を予定しています。

病院機能評価の審査を担当する「サーベヤー」も、JCHOには2024年5月の10名から、2025年10月の15名(診療9、看護5、事務1)に増え、受審される病院の相談対応や模擬審査などにご協力いただいています。

受審された病院の資料等も、職員向けポータルサイトやメールマガジンで共有しています。全病院の認定を目指して、ONE JCHOで取り組んでまいりましょう!

JCHO本部 医療部医療課
医療推進係長 **金子 亮広**



～JCHOポリバレントファーマシスト育成研修プログラム実践例～

保険薬局研修を介した在宅医療へのアプローチ

JCHO PHARMACIST



入所患者への服薬状況の確認

徳山中央病院

薬剤師 **田中 寛子** / 薬剤部長 **佐藤 真也**

徳山中央病院では、病棟業務を軸に在宅訪問などを含む保険薬局研修を並行して実施し、入院から退院までの一貫した流れと、退院後の自宅での薬物療法までを見据えた研修を構築しました。

研修成果を外部へアピールし、さらなる病院薬剤師の魅力を可視化することは、病院薬剤師の確保と定着に繋がると思います。

新卒薬剤師が本研修プログラムを実践していくことで、病院薬剤師の職能発揮に繋げ、同時に指導薬剤師の充実を図っていきます。



薬管理 BOX の確認

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く

理事長・病院訪問記

ONE JCHO

お仕事：診療案内
新人看護師の初心者マーク
出身：新宿区神田川



ヤマメちゃん

東京山手メディカルセンターに
国会議員が来訪、
厳しい経営状況を説明しました。



さくりん

お仕事：ゆるっと広報担当
大好物：マグロ桜エビ丼
座右の銘：明日やろうは、
バカヤロー
桜のカチューシャが自慢

清水さくら病院



ふなっちゃん

お仕事：病院紹介
インターンシップ
広告活動
出身：千葉県船橋市

船橋中央病院



長崎大学に表敬訪問
地域医療の連携を深めました。
山本理事長、長崎大学 永安 学長、諫早総合病院 長郷 病院長

HAPPY NEW YEAR
2026

睡眠と筋肉は裏切らない

山本修一



独立行政法人
地域医療機能推進機構
JCHO Japan Community Healthcare Organization



本部
〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！